

平成30年度第2回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時：平成30年11月5日（月）午後2時から午後3時30分まで

場 所：本庁舎議会棟3階大会議室

出席委員（敬称略）：河東義之、山本勉、馬場憲一、稲葉政満、保坂一房、
棚橋正道、久保田正寿、神庭正則、西村慎太郎

欠席委員（敬称略）：沖川伸夫

事務局：岡田芳典教育長、渡辺慶一郎教育部長、北村和寛文化課長
木下裕雄郷土博物館管理係長、岡本拓也郷土博物館管理係主任

開会（文化課長進行）

1 教育長あいさつ

2 報告事項

(1) 天然記念物の現状変更について

事務局から、市指定天然記念物の「御嶽神社参道の杉並木」の剪定伐採による現状変更について説明。

質疑・応答・意見

【委員】伐採した杉の保存について、何か取り組んでいるか。

【事務局】輪切りにするなどの保存は行っていない。

【委員】参道の杉並木は一般的に江戸時代中期頃のものと言われており、それを証明する資料の一つとして、輪切りにして残したほうが良い。

【事務局】今後、所有者と相談する。

(2) 台風24号の被害状況について

事務局から、9月30日から10月1日にかけて発生した台風24号による被害状況について説明。

質疑・応答・意見

【委員】旧稲葉家住宅の土蔵は、写真を見るとかなり破損しているよ

うだが、台風以前から破損していたということか。

【事務局】9月の大雨で一度崩壊し、今回の台風24号でさらに被害が広がった。

【委員】旧稲葉家住宅土蔵は、復原修理工事を行ってから年数が経っていないので、施工業者に原因をよく確認してほしい。

【事務局】現在、東京都および施工業者と協議しているところである。

【委員】今回の台風のように早急な対応を求められることがあるので、文化財の所有者との連絡体制を確認しておいた方がよい。

【事務局】対応マニュアルの作成を含め、連絡体制を整理したい。

(3) 地蔵院の宝珠梅のPPV（梅輪紋ウイルス）感染について

事務局から、市指定天然記念物である地蔵院の宝珠梅のPPV感染について説明。

質疑・応答・意見

特になし。

(4) 旧稲葉家住宅の土蔵の破損について

事務局から、都指定有形民俗文化財の旧稲葉家住宅において、5月と9月に発生した土蔵破損について説明。

質疑・応答・意見

【委員】近くに道路があり車が多く走っているので、その振動で崩れやすくなっているのかもしれない。

(5) 美術館および郷土博物館の統合検討について

事務局から、美術館と郷土博物館の統合検討について、事務局で作成した資料をもとに説明。

質疑・応答・意見

【委員】収蔵庫は廃止されないのか。

【事務局】本館のみ廃止する。

【委員】美術館と博物館が統合し、美術館の中に博物館が入る方針であることは、決まったことなのか。

【事務局】当初は、東青梅の複合施設の中に博物館と美術館の展示機能
を移す予定であったが、子育て支援機能等に移すことになり、
展示機能は見送りになった。美術館については、中心市街地
活性化の観点から残すべきだとの意見があり、博物館機能を
美術館に移すことを検討することになった。

【委員】青梅は古くからの歴史があるので、博物館は残すべきである。

【委員】市民は、博物館（文化財）と美術（芸術文化）の両方を享受
する権利があるという前提のもとにあり、その片方を著しく
縮小することで、市民の理解が得られるのか。

【事務局】議会で承認された公共施設再編計画で、博物館をはじめ公共
施設を統廃合していく中で、博物館と美術館の複合化を検討
していくという方針になった。東青梅の複合施設へ移ることが
難しい中で、どのように検討していくかが課題である。

【委員】美術館運営委員会と文化財保護審議会の委員がどこかで意見
交換する場を設けたほうが良い。

【委員】外部組織や市民にも意見を聞いた方が良い。

【委員】教育委員会にある文化財組織を市長部局に移した方が良いと
いった流れに対する対応という意味も含まれているのか。

【事務局】来年度の法改正もあることから、今後の検討課題と考えてい
る。

(6) その他

質疑・応答・意見

特になし。

3 協議事項

(1) 森下陣屋のカシの指定解除について

事務局から、台風24号の被害による、森下陣屋のカシの倒木に伴
う指定解除について説明。

質疑・応答・意見

【委員】倒木によって、指定されていたカシの木が完全に無くなってしまったので、指定は解除するしかないが、解説板などで、カシの木がかつて存在したという記録は残すべきである。

【事務局】現在、切株を保存しているが、カシの木がかつて存在したという記録を現地に残せるように検討したい。

【委員】倒木したカシの木の種を植えるということはないか。

【事務局】今のところ、正式には聞いていない。

【会長】今後、指定を解除するという事によろしいか。

【委員】異議なし。

(2) 文化財保護法等の改正について

事務局から、文化財保護法等の改正について説明。

質疑・応答・意見

【委員】地域計画をどう考えているか。

【事務局】国の方針や都の大綱などがまだ未策定であるため、検討までは至っていない。

【委員】文化財行政を教育委員会から市長部局に移せることになったが、そのあたりはどのように考えているか。

【事務局】現段階では、市長部局に移すことは考えていないが、今後、検討することはあるかもしれない。

【委員】文化財行政は、観光目的の活用だけではないと思うので、市長部局に移さないほうが良い。

【委員】個別の文化財保存活用計画は、保存修理などの際に有効になるため、作っておいた方が良い。

【委員】文化財保存に関わっている市民団体と協力し合うのも良い。

(3) 平成31年度事業計画（案）について

事務局から、平成31年度事業計画案について説明。

質疑・応答・意見

【委員】金剛寺の菩薩立像の指定に関する動きはまだ考えてないか。

【事務局】現時点ではまだ考えていないが、今後、協議していきたいと

考えている。

(4) その他

質疑・応答・意見

特になし。

4 その他

質疑・応答・意見

【委員】金剛寺の菩薩立像は、平安時代まで遡る大変貴重な仏像であり、また、長野県長野市松代町の開善寺から、松代群発地震の頃に、何らかの事情で移ったものであり、都内にある木彫像としては、かなり古い部類に入り、市の指定にする必要があるのではないかと考えている。

【事務局】今後、指定に向けて協議させていただきたい。

【事務局】青梅鉄道公園にあるED16形式一号電気機関車が、平成30年11月付けの官報で正式に重要文化財に指定された。

閉会（会長）